



まちと人に、笑顔と元気と感動を 事業型社会貢献で機動力アップ 生音楽出前公演「NPO法人きたおん」

涙
笑い
感動
のある人生を!

「生音楽の出前公演」という独自の社会貢献活動を目的に平成21年、「NPO法人きたおん」を設立したGICコンサルティンク。社会貢献を事業として確立させた1歩先を行くスタイルです。企業や行政と連携した活動形態で、地域の活性化にも取り組んでいます。同法人の理事長兼同社代表取締役の佐々木清さんに話を聞きました。

—「生音楽の出前公演」を始め
たきっかけを教えてください。

佐々木（敬称略） 当社は企業
のリスクマネジメントコンサル
ティンクを30年以上続けていま
す。そのなかで感じたのが、会
社の危機管理の前に、経営者や
従業員の心や体の健康を整える
のが必要だということ。心身の
両面で不調を抱えている人がと
ても多い。

そこで健康管理に関しては青
汁を作って販売したのですが、
心には生の音楽が最適と考えま
した。生の音楽にはCDでは聴
き取れない脳を刺激する周波が
あり、それが感情を刺激するの

で、疲弊してしらけてしまった
心に潤いを与えるんです。

また、地方では音楽公演がほ
んど行われないため、一生に
一度も生の音楽を聴かずに終わ
る人もいます。そこで出前公演
をしようと考えました。テーマ
は「涙」「笑」「感動」。心を
開放する縁となれば、という思
いを込めています。

—なぜ、NPO法人にしたので
すか？

佐々木 ひとつの事業として社
会貢献に取り組むことで使命が
生まれ、継続的な事業展開が可
能になるからです。また資金、
人材面での機動力も増します。

株式会社
GICコンサルティンク
中央区宮の森

私たちはこの事業を成功させ
るために、「行政の協力」「企
業の協賛」「まちの再生・活
化に貢献」「地域アーティスト
の活躍の場を創る」という4つ
の経営理論に基づいて推進して
います。行政に協力を仰ぎ、地
域の商店街などから協賛してい
ただくことで、まちも活性化さ
れるのです。

—現在、27社が協賛企業として
参画していますね。

佐々木 各代表が理事を務め、
寄付やボランティアスタッフと
して運営にかかわっています。
活動資金は会費や事業・受託取
入など。補助金や助成金など
いった一時的なものには依存し
ません。ちなみに、協賛を募る
ポイントには熱意です。

—「出前公演」はすでに14回
行っています（平成22年9月現在）。
依頼はどういったところからく
るのですか？

佐々木 地域の高齢者の集いや
祭り、市町村の周年事業など、
イベントのアトラクションとし
て呼ばれることが多いです。北



海道だけでなく東京からの依頼も
受けています。

—公演当日の運営スタッフは社
員だそうですね。

佐々木 公演日がたとえ週末でも
社員は全員出勤です。20世紀まで
はアメとムチの時代でしたが、こ
れからは個人自らがモチベーショ
ンを湧き起こさないとダメな時
代。社員には、活動に喜びを見出
し、それをモチベーションとする
ことを教えています。

佐々木さんが考える NPO法人成功の秘訣

NPOは資金力がないと成功し
ませんので、財政面で自立する必
要があります。ですから、利益分配
はNGですが、運営費としての利益
は出さないとダメ。そもそも事業と
いうものは利益を出すのが当然な
のです。そのために経営理論を設
け、論証、実証、例証を重ねて、信
用と信頼を築いています。